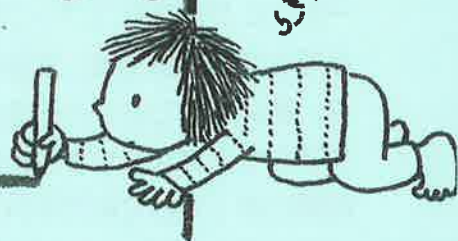


2021年

# こどもニュース

No. 14

12.2 発行



少し前になりますが、先月 17 日に父母の会主催の「証しの会」がありました。

昨年度は対面では行えなかったので 2 年ぶりに皆様とお顔をあわせ集まる機会になりました。美しいオルガンの前奏に始まる礼拝に続き、クリスチャン保護者の方の証し、そして三人の方のピアノとヴァイオリンのアンサンブルへと続く至福の時となりました。出席されなかった方も証の会の冊子をどうぞじっくりとお読みください。コンパクトサイズで手になじみ、何度でもめくりたくなりますね。

子ども達の礼拝の後には「秋のコンサート」として、ステキな生の演奏をたっぷりと聞かせていただきました。このような豊かな時をいただき本当に感謝します。

さて、水曜日の合同礼拝では、クランツの 2 本目のろうそくに火が灯されました。先行きの見えないコロナの感染状況が世界的でなかなか収まらない中で、毎週一本ずつろうそくの火が増えていくのを見ることは「どんな時でも神様が見ていて下さる」という事を実感できる瞬間です。

アドベントは救い主イエス様の降誕を「待ち望む」期間ですが、この時期を迎えるといつも(私たちの日常に「待ち望む」ということがどのくらいあるのだろうか。)と考えます。待つからこそ喜びも大きいと思うのですがスピード感を求められる現代社会では「待つ」ことは常にマイナスのイメージで語られてしまいます。でもすぐに事が運んだり、瞬時に対応することばかりが良いことなのでしょうか？素早い判断が必要なことももちろんありますが、時には本当に大事なものを見極める時間、また本当に必要なことは何かを考える時間も大切にしたいと思っています。園芸の会の皆様が創ってくださったリースを飾り、クランツに一本ずつ火を灯し、少しずつ讚美礼拝のハレルヤが進み子ども達の歌声が園のそこここから聞こえるようになり……。いっきに華やかな飾りに彩られるのではなく、そのようにして日一日と本当のクリスマスに向かうアドベントを大事に丁寧に過ごし、イエス様のご降誕を待ち望みたいと思っています。



## クリスマスブック

讚美礼拝の配役も決まり、いよいよハレルヤが始まりました。年長児はハレルヤ一回目にクリスマスブックをもらいました。表紙に自分の名前が書いてあり、自分が担う言葉や讚美歌に赤線が引いてあり、世界に一つだけの大切なクリスマスブック。是非お家でも子ども達と一緒にハレルヤごっこを楽しんでくださいね。ハレルヤでクリスマスブックを使用しますので、毎日必ずリュックのポケットに入れて幼稚園に持ってきてください。また、おうちの人たちも讚美歌練習と称したハレルヤがあります。その時には子ども達からクリスマスブックを借りてご参加ください。

このクリスマスブックは幼稚園で何十年も前から使われているものです。毎年毎年、子ども達の希望をもとに少しずつ変化を重ねてきました。以前、“天使”では台詞よりも歌が歌いたいと希望が出たときに、子ども達の意見で両方すれば良いよと決まった年がありました。私たち保育者も基本が変わらなければ、希望者が多い時には衣装があれば人数を増やすこともあります。少しでも子ども達の思いが叶うようにと考えています。この先一人ひとりが台詞を覚えていく中で、言い回しが変わるところがあるかもしれません。讚美礼拝当日「うん??」ではなく、「今年はこうしたんだね」と思い、共に讚美の時をお過ごしください。

### 【お願い】

クリスマスブックは配役決定前に印刷、製本を行っています。子ども達がクリスマスブックを持ち帰ったときに、変更している箇所の書き換えを各自でお願いします。

P10 ♪さんびか「あるひ うまごやで」 ぜんえんじ・ほごしゃ

★おいのり★



♪さんびか「あるひ うまごやで」 ぜんえんじ・ほごしゃ

★ナレーター⑩★

かみは そのひとりごを おあたえになったほどに  
よをあいされた。

ひとりごをしんじるものが ひとりもほろびないで  
えいえんのいのちを えるためである。

★おいのり★




# 年長ハレルヤ

年長さんのハレルヤが始まって、約3週間が経ちました。

初めてのハレルヤでクリスマスブックを貰ってからというもの、ちょっとした時間に、思い出したかのようにクリスマスブックを取り出して眺める年長さんをよく見かけます。


年長ハレルヤは、場面ごと配役ごとに四つのグループに分かれて行っています。受告～宿探しまでの場面(イザヤ・いマリア・ヨセフ・ガブリエル・ローマ兵・宿屋・ナレーター)、羊飼いの場面(羊飼いの御使い・天使・ナレーター)、博士の場面(博士・星・ナレーター)、そしてハンドベルです。朝の自由遊びの時間に、場面ごとで集まり遊戯室で立ち位置や動きの確認をしたり、わかばの部屋でハンドベル講師のあい先生も交えて演奏してみたりと讚美礼拝への準備を進めています。



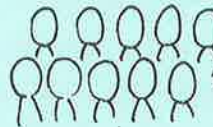
今年のハンドベルチームは  
男の子ばかり!!  
**力強い音**がします!  
(音の正確さは、さておき...笑)

ハンドベルチーム

博士の場面



この言葉、いつも忘れちゃうんだけどね...  
できないこと、わからないことを  
とても素直に言える姿。  
周りの動きを子ども同士よく見えています!




ハレルヤの様子。

今年、羊飼いの数は10人。  
歌う天使は5人。  
皆ぞ気持ちを揃えて言っています。

羊飼いの場面

受告～宿探しの場面



感情の伝わる  
歌や動作々々  
マリアさんの背中に  
そっと手を当てるヨセフ君

以前のこどもニュースでもお伝えしたように、それぞれの役はくじ引きで決めました。そのため、残念ながら第一希望の役にはなれなかった子もいます。けれども、このハレルヤの時間を通して、神さまから与えられた自分の役をよく知り、深めていく中で、自分の役を好きになって欲しいと願っています。ハレルヤの中では、お互いに「さっきよりも声が大きかったよ!」「歌が上手になってたよ」「言い方がとっても素敵だった」と子どもたち同士でお互いの姿を認め合いながら進めています。お友達に褒められて、ちょっぴり恥ずかしそうにしながらも、嬉しそうにしている子どもたちの姿があります。

讚美礼拝まであと2週間を切りました。讚美礼拝をドキドキワクワクしながら待ち望む子どもたちの姿があります。讚美礼拝当日、大好きな自分の役を自信を持って担う年長さんの姿を楽しみにしています。

(ゆか)

# 年中さんの 00606や は...

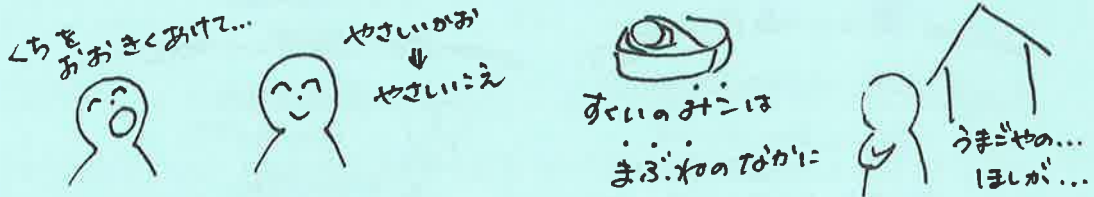
## 「聖歌隊」ってなあに？

今の年長さんたちが年中さんだった時、讃美礼拝でキャンドルを持って歌ってた！その記憶・イメージが残っている子どもたちから「わかる！」という声があがりました。「聖歌隊」という言葉とそのイメージがつながらなかつた子もいたようですが、「ハレルヤ」を繰り返す中で「自分たちは「聖歌隊」なんだ。」という気持ちも芽生えてきたようです。



## どうやって「聖歌隊」になっていく？

学年や讃美礼拝の場面ごとに礼拝に向けての準備を進めている「ハレルヤ」で、年中さんは「聖歌隊」としての準備をしています。「聖歌隊」の役割は何だろう？歌う時に必要なことってどんなこと？どんな風に歌いたい？歌詞の意味はなんだろう？…保育者から答えを出すのではなく、子どもたちと一緒に考えながら答えを探しています。そして、その一つひとつの積み重ねが、讃美礼拝当日の歌声につながっていきます。



## 待ちました クリスマスブック！

先に年長さんたちがもらっていたクリスマスブックを「いいなあ…」と見ていた年中さん。“自分の”クリスマスブックをもらい大喜び！さっそく表紙に色を塗ったり、中を開いて赤線の印を探したり、歌詞を読んでみたり、歌ってみたり…それぞれに温めていた思いがあふれていました。



子どもたちの中には歌は知っているけれど、歌詞は…あれ？なんだっけ？と、まだうろ覚えの子どもたちもいます。“ハレルヤ”だけでなく、あつまりやクラスの時間にもたくさん歌って覚えていこうね！ご家庭でもぜひ一緒にクリスマスブックを開いて歌ってみてください。



# ★ ★ ★ 年少ハレルヤ ★ ★ ★

## 「クリスマス」ってどんな日？

年少さんにとって初めての〈ハレルヤ〉。「クリスマスってどんな日かな？」と子どもたちに聞くと「ケーキ食べる！」「プレゼントをもらえるよ！」「サンタさんが来るかも！」と目をキラキラさせてお話してくれました。「本当のクリスマスはね…イエス様のお誕生日なんだよ！」と伝えると…

「本当のクリスマス？」とはじめは不思議がっていた子どもたち。ハレルヤやあつまりを通して、紙芝居を使いながら本当のクリスマスの意味を伝えていきました。紙芝居に興味津々で、真剣に見入る子どもたちでした♪



## わたしたちもやりたい！

年長さんはそれぞれの役、年中さんは聖歌隊、そして年少さんにも役があるんです！〈ひつじ〉〈ほし〉〈てんし〉の中から一つ選ぶことができます。ハレルヤの中で、この3つになりきったリズム遊びをしました。かわいかわい羊さんになっておさんぽしてみたり、おいしい草を見つけて食べてみたり、疲れてきたら♪～きらきらぼしの音楽をきいてスヤスヤ…zzz

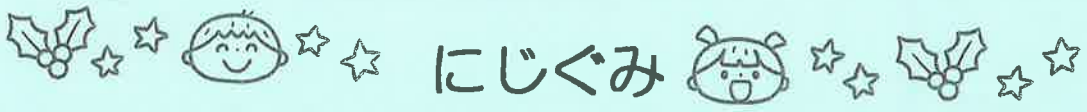
天使さんにもなりきりました！両手を羽のように広げて、思い切り走り回る元気な天使もいれば、片手をあげてゆっくりと歩く上品な天使もいました★最後はおほしさま！両手をきらきら～とさせて歩いていた子どもたち。本当に輝いてる星みたいで、とっても素敵でした！

また、あつまりの中で讚美礼拝の時に着る衣装の紹介もしました。

「うわあ～かわいい！！」「おほしさまだ～きれい！」と、初めて見る衣装にくぎ付けでした。「え～私天使にしようかなあ」「僕ひつじにしよう～」とひとり一人、役を決める事を楽しみにしていました。



後日、ひとり一人にやりたい役を聞き、役が決定！お待ちかねのクリスマスブックももらい、クラスに戻ると、何が書いてあるのかパラパラめくりながら見ている子どもの姿や「私たちももらったよ～！」と年長さんや年中さんに自慢気に見せている子どもの姿もありました。クリスマスブックには、讚美礼拝で歌う楽譜も載っているので、おうちの方も一緒に歌ってみてください♪


 にじぐみ

朝夕は冷え込む日が多くなりましたが、日中の暖かいときは泥団子づくりに精を出しているにじぐみさん。年上児が砂場で水路を作っていると目を輝かせて、一緒になってお水を流したり、スコップで泥を入れたりして遊んでいます。

時にはせっかく作った水路を堰き止めてしまったり、樋を外してしまったりと思わずお邪魔をしてしまうこともあります。お兄さんお姉さんたちは「もう～」と言いながらも「また作ればいいから大丈夫！」と優しく言ってくれます。

当の本人たちは素知らぬ顔をしています。今受けている親切を大きくなった時に小さなお友だちにお返ししてほしいなと願っています♡

### うれしいクリスマス

年長さんのハレルヤが始まり、朝の体操の後に役を呼ばれて誇らしげにお部屋に向かう年長さん。年中さんの聖歌隊さんの歌声も響き、エントランスにはおうちの方が温かくて素敵なおクリスマスの飾り付けをして下さり、何となくワクワクした雰囲気を感じています。クリスマスはイエス様がお生まれになったとっても嬉しい日ということをお話すると、「えー！？そうなの？」とびっくりしながらも、自然に受け止めてくれているようです。

にじぐみのクリスマス礼拝はパネルシアターを使って、子ども達と一緒に讃美します。アドベントカレンダーを順番に飾りながら、その日を楽しみに待ちたいと思います。



### 可愛いリズム遊びクリスマスバージョン♪

普段のリズム遊びではウサギさんになって飛び跳ねたり、トンボになって走り回っているのですが、最近は天使になったり、ひつじになったり、お星さまに変身してリズムに合わせて動きます。クリスマスの物語に登場する役になりきって全身でクリスマスを楽しんでいるにじぐみさん♪年少さんになったとき、どんな役が心に残っているでしょうか。覚えていてくれたら嬉しいです。

